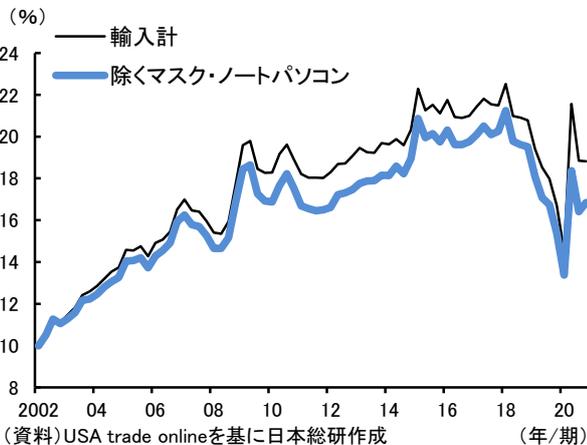


中国の米国向け輸出の巻き返しは一時的

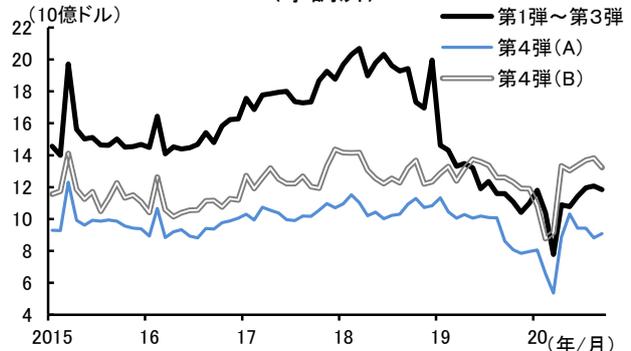
— バイデン新政権は制裁関税撤廃せず、サプライチェーン再編の動きは続く —

- (1) 2020年11月の中国の米国向け輸出は前年同月比+46.1%と大幅に増加。米中対立のなかでも、米国の対中輸入依存度は急速に上昇。コロナ禍で中国がいち早く生産活動を回復したことに加え、医療やテレワークでの特需も大きく影響。実際、米国輸入における中国シェアは関税制裁実施前まで戻しているが、マスクとノートパソコンを除けば依然低水準（図表1）。
- (2) 2018年以降、米国は対中制裁関税を4段階で発表。第4弾の一部について発動見送りや関税率引き下げが2020年1月に合意されたが、追加関税25%対象の財（第1弾～第3弾）の輸入は低迷（図表2）。バイデン氏は追加関税の即時撤廃を否定しているため、コロナ特需が剥落すれば、米国の輸入に占める中国シェアは再び低下する可能性大。
- (3) 制裁関税だけでなく、ファーウェイへの禁輸などハイテク対立への懸念も残り、世界的なサプライチェーン再編の動きは続く見込み。2018～19年に米国の輸入におけるシェアが最も大きく伸びた国はメキシコであったが、2020年にかけてはベトナムが大きく加速（図表3）。米国の中国からの輸入減少寄与が大きい品目では、ベトナムがシェアを大きく拡大（図表4）。同国に続いてアジア各国・地域が名を連ね、各国企業にとって中国からの生産移転先としてアジアが有力候補であることを示唆。

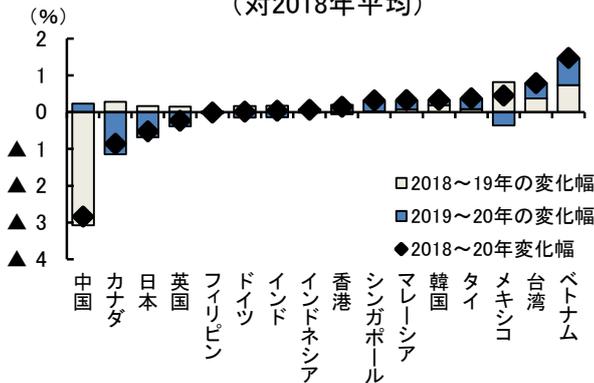
（図表1）米国における中国輸入のシェア（季調済）



（図表2）関税リスト別の米国の中国からの輸入（季調済）



（図表3）米国輸入国別シェアの変化幅（対2018年平均）



（図表4）品目別米国輸入シェア上昇ランキング

	中国からの米国輸入 (2018年1月～2020年10月) :減少寄与上位10品目(HS6桁)	米国輸入に占めるシェア拡大 トップ3		
		1	2	3
1	無線受信機(無線イヤホンなど)	ベトナム	台湾	タイ
2	携帯電話端末	ベトナム	インド	インドネシア
3	機械部品・付属品	台湾	韓国	ベトナム
4	処理装置(CPUなど)	台湾	ポーランド	ドイツ
5	ソリッド・ステート・ドライブ	韓国	台湾	マレーシア
6	テレビ受信装置	メキシコ	ベトナム	台湾
7	腰掛け(木製フレーム)	ベトナム	マレーシア	カンボジア
8	旅行用バッグ	カンボジア	ベトナム	ミャンマー
9	スタティックコンバータ	ベトナム	インド	タイ
10	車輪付き玩具など	ベトナム	インドネシア	チェコ

(資料) USA trade onlineを基に日本総研作成

【ご照会先】調査部 野木森 稔 (nogimori.minoru@jri.co.jp, 070-3103-4090)

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。